

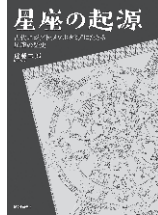
今月の特集 TOPICS & 連載

★11月8日全国で見られる
好条件の皆既月食
★縄文時代の星空

☆好評連載 **星空撮影QUICKガイド**
☆巻頭グラビア「月のある絶景」
◆今月の星空 / 今月の天体観測 ◆アストロニュース
◆月のある絶景 ◆天文学コンサイス ◆読者の天体写真
◆観測ガイド 他
天文ガイドホームページ
<https://www.seibundo-shinkosha.net/tenmon/>

書籍のご案内

星座の起源



黄道十二宮などの星座は、いつのようして生まれたのか？ その起源となる古代エジプト、メソポタミアの星座を紹介した決定版書籍。
近藤 二郎【著】
定価：3,300円(税込)
ISBN: 978-4-416-52159-5

A5判・400頁

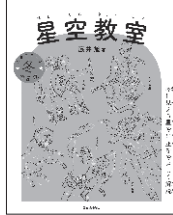
なぜか宇宙は
ちょうどいい



宇宙の物理法則は、生命にとって都合のいい世界になるように調整されている？ わかりやすい文章とイラストで、宇宙の奇跡を教えてくれる入門書。
松原 隆彦【著】
定価：1,760円(税込)
ISBN: 978-4-416-62038-0

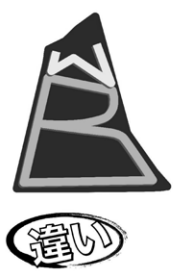
四六判・208頁

星空教室 冬の星座



冬の夜空に見える星座や星について、美しい写真や図版を交え、やさしく解説。冬の星空観察の基本が学べる一冊。
藤井 旭【著】
定価：2,750円(税込)
ISBN: 978-4-416-62134-9

B5変判・80頁



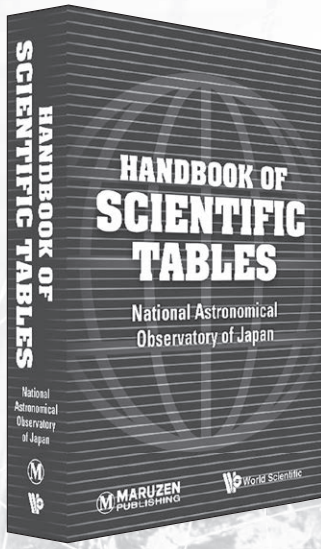
～言葉の垣根をこえるお手伝い～
英文校正・翻訳サービス
ワイズバベル

1. 天体物理学の元一線の研究者(在英)が校正
2. 日本人天文学研究者の癖に精通
3. 日本語でのやり取り、確認、校費/科研費対応
4. LaTeX, Word, HTML 形式他へ完全対応

URI: <http://WiseBabel.com/> Twitter/FB: @WiseBabel
email: info@WiseBabel.com 代表: Masa Sakano, PhD
Wise Babel Ltd, 15-17 High St, Kingussie, Inverness-shire, UK

理科年表 英語版

『Handbook of Scientific Tables』刊行!



編纂:自然科学研究機構 国立天文台

刊行:2022年5月

サイズ:9in(228mm)×6in(152mm)、1056ページ

形式:ハードカバー (ISBN978-981-3278-51-6); USD \$268

e-book (ISBN978-981-3278-53-0); USD \$214

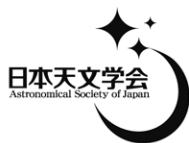
発行元:World Scientific Publishing Co. Pte. Ltd./丸善出版

『理科年表』は、国立天文台が編纂するサイエンスの全分野を網羅した、世界的にも類を見ないユニークなデータブックです。以前より英語版への要望の声が高く、理科年表の執筆に携わる多くの研究者・官公庁の協力の下、今回ようやくそれに就くことができました。この度出版した英語版は天文、気象、物理/化学、地学、生物、環境の6部門からなり、暦部など一部コンテンツを除いて、理科年表をそのまま英訳しており、世界中の研究者・技術者・教育関係者・学生などにご活用いただける内容になっています。

※本書は洋書扱いとなるため、洋書を販売している書店やオンライン書店等でご購入ください。また、e-book版もございます。

丸善出版株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17 神田神保町ビル 営業部
TEL(03)3512-3252 FAX(03)3512-3270 <https://www.maruzen-publishing.co.jp>



インターネット 天文学辞典 公益社団法人 日本天文学会

天文・宇宙に関する 3,000 以上の用語を専門の研究者がわかり易く解説。登録不要・無料で、誰でも利用できる「進化する辞典」です。

火球

星のなかでも極めて明るいもの。流星と火球の境界にはさまざまな定義が使われてきたが、2017年に国際天文学連合のF1委員会（流星、隕石、流星体）が、関連分野の基本用語の定義や解説を採択し公表した。そこでは100 kmの距離での明るさがマイナス4等より明るくなったものを火球と呼ぶこととしている。火球では、流星の流線点である高度80 kmよりも低高度まで流星現象が継続することもある。火球は通常の流星よりも大きな流星（数cmから数10 cm程度）が大気突入したときに観測されるもので、爆発的な現象が見られたり地上で音が聞こえたりすることがある。落下物質が隕石として採集されることもある。

国際天文学連合のF1委員会による流星天文学の用語の定義と解説：
https://www.iau.org/static/science/scientific_bodies/commissions/f1/meteordefinitions_approv

2020年7月2日に東京上空に墜れた大火球。その経緯と軌道 (提供: KAGAYA)
https://youtu.be/Muk_xjDINow

特長

- 急速な発展を続ける天文学分野の用語を随時更新し、最新の情報を掲載
- 豊富なカラー画像や動画を使用しわかりやすく解説
- 研究者向けの専門用語から小・中学生向けの基礎的な用語まで幅広く網羅
- 学習レベルやカテゴリ別に検索できるので教材作りにも役立つ

インターネット天文学辞典

<https://astro-dic.jp/>

